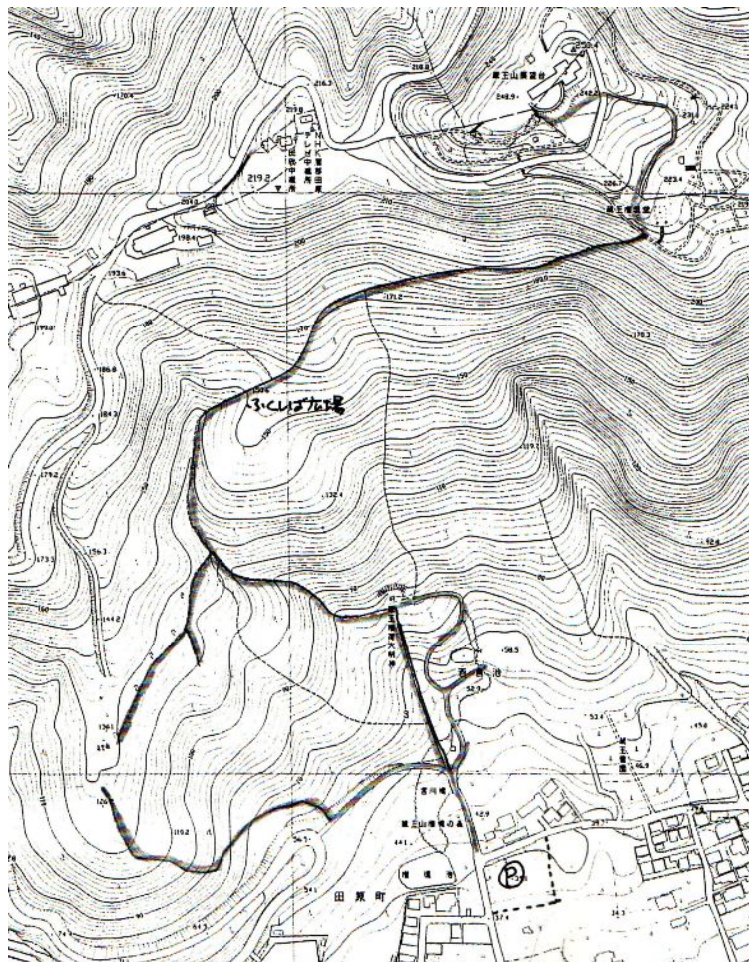
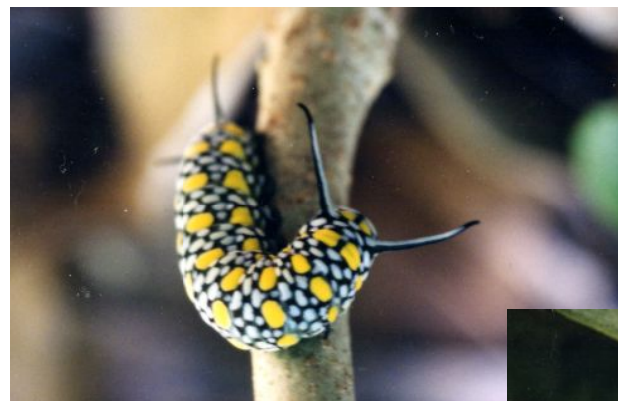


蔵王山の登山コース



2005年 定例自然観察会

蔵王山・権現の森の自然観察



アサギマダラの
終令幼虫と蛹

自然保護憲章

- ・自然をとつとび、自然を愛し、自然に親しもう。
- ・自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしましょう。
- ・美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

昭和49年6月5日制定

写真引用：ヤマケイポケットガイド⑨チョウ・ガ

〃

⑱水辺の昆虫

10月10日(第8回)

主催:NPO法人東三河自然観察会

後援:田原市・田原市教育委員会

渡りをする蝶：アサギマダラのマーキング調査



ヒヨドリバナを
吸蜜するアサギマダラ

マダラチョウ科のアサギマダラは、前ばねの長さが約5センチの可憐なチョウです。

春は北東へ移動し、秋は南西への移動をくり返す渡りをするチョウとしても有名です。一匹のチョウが両方の移動を行うのではなく、北上したチョウの子供や孫に当たるチョウが南下するようです。

アサギマダラは海を越えて2000kmもの距離を移動することが分かってきましたが、今もなお移動ルートや生活史など謎の解明のために生態調査が行われています。

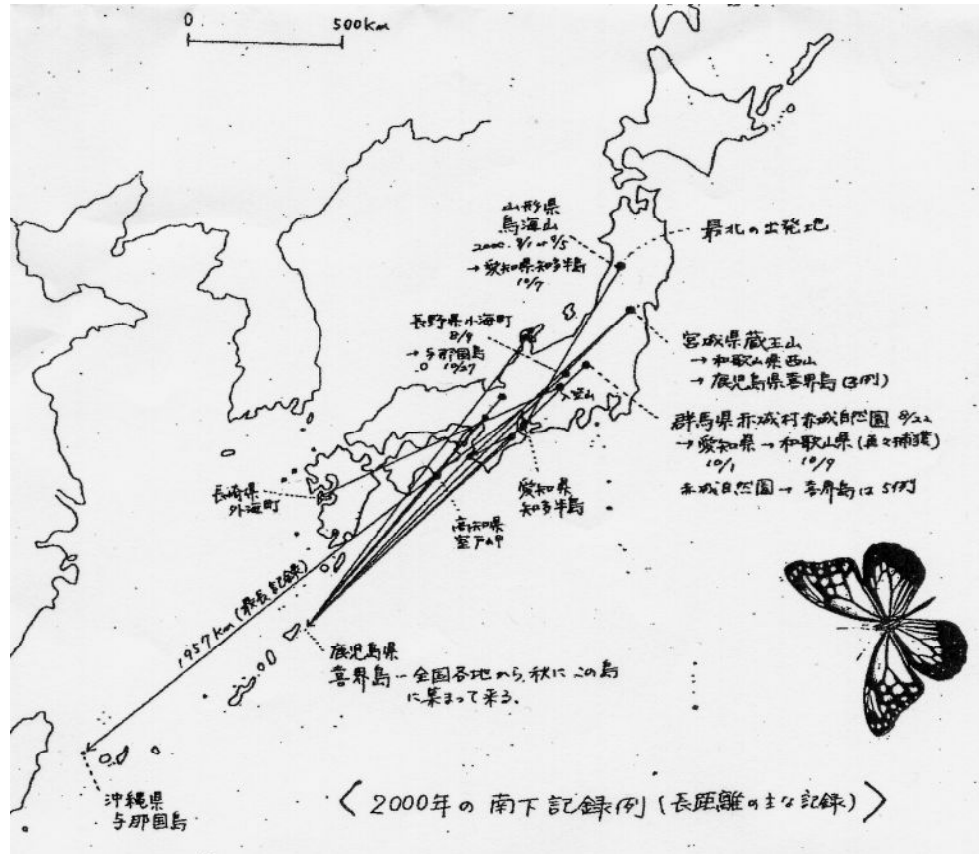
何のための長距離移動をするのでしょうか？

小さな体に大きなパワーを秘めて、どこまで飛んでいくのでしょうか？

では、ヒヨドリバナやアザミに吸蜜するために集まるアサギマダラに記号を書いて、権現の森から放してみましよう。

移動する昆虫

アサギマダラ以外にも、移動する昆虫として、アキアカネ、ウスバキトンボ、イチモンジセセリ、ウラナミシジミなどが知られています。



アキアカネ



ウスバキトンボ



イチモンジセセリ



ウラナミシジミ